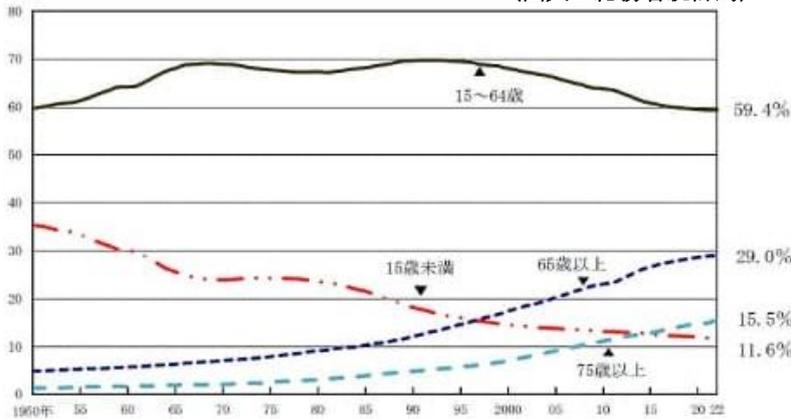


総人口を年齢区分別で見ると、15歳未満人口は1,450万3千人で前年に比べ28.2万人の減少。総人口に占める割合は11.6%(前年比0.2ポイント低下)。生産年齢人口である15～64歳は前年比29万6000人減の7420万8000人。全体に占める割合は59.4%で前年と変わらず、1950年以降で過去最低水準。一方65歳

年齢区分別人口の割合の推移(1950～2022年)

(出典：総務省統計局)



(図2)

以上人口は、前年比2万2000人増の3623万6000人。割合は29.0%で過去最高となった。このうち75歳以上は前年比69万1000人増の1936万1000人。65歳以上人口の半数以上の53.4%を75歳以上が占めています。(図2)

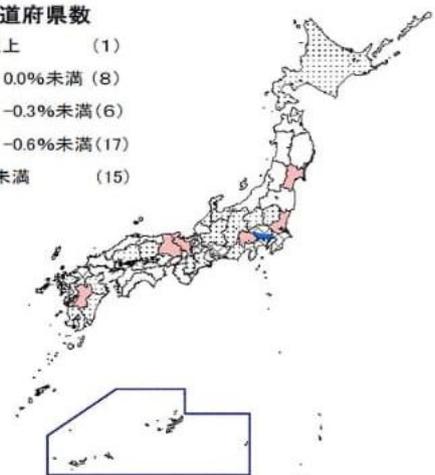
都道府県別でみると、人口増加は東京都のみ。東京都の人口増加率は0.2%。その他の46道府県は人口減少で、沖縄県は1972年(昭和47年)に日本復帰以降、初めての人口減少となった。なお15歳未満人口の割合が最も高いのは沖縄県の16.3%。15歳未満人口の割合が75歳以上人口の割合を上回るのは沖縄県のみであった。秋田県(▲1.59%)、青森県(▲1.39%)、岩手県(▲1.32%)など14県で人口減少率が1%を上回りました。(図3)

都道府県別人口増減率

人口増減率

( )内は都道府県数

- 0.0%以上 (1)
- 0.3～0.0%未満 (8)
- 0.6～-0.3%未満 (6)
- 0.9～-0.6%未満 (17)
- 0.9%未満 (15)



(図3)

少子高齢化が加速し、縮んでいく日本。人口は12年連続のマイナス。そんな中で65歳以上人口の割合は29.0%と過去最高を記録した。いかに社会の活力を維持していくのか、難しい課題となっています。

年齢で 出来るできない 決めないで

年言うと『お若い』と言うの 礼儀なの

息切れた なんて膝だけ 笑うんや

令和5年 大雪